

運河ルネサンスによる取組（朝潮地区）

＜令和6年度＞

① 朝潮運河と周辺水域操船体験クルーズ 主催：朝潮地区運河ルネサンス協議会

平成22年度から、朝潮運河から周辺水域をめぐる運河探訪のイベントを実施している。令和6年度は、7月13日（土）から15日（月祝）及び10月12日（土）から14日（月祝）に「朝潮運河と周辺水域操船体験クルーズ」を実施した。

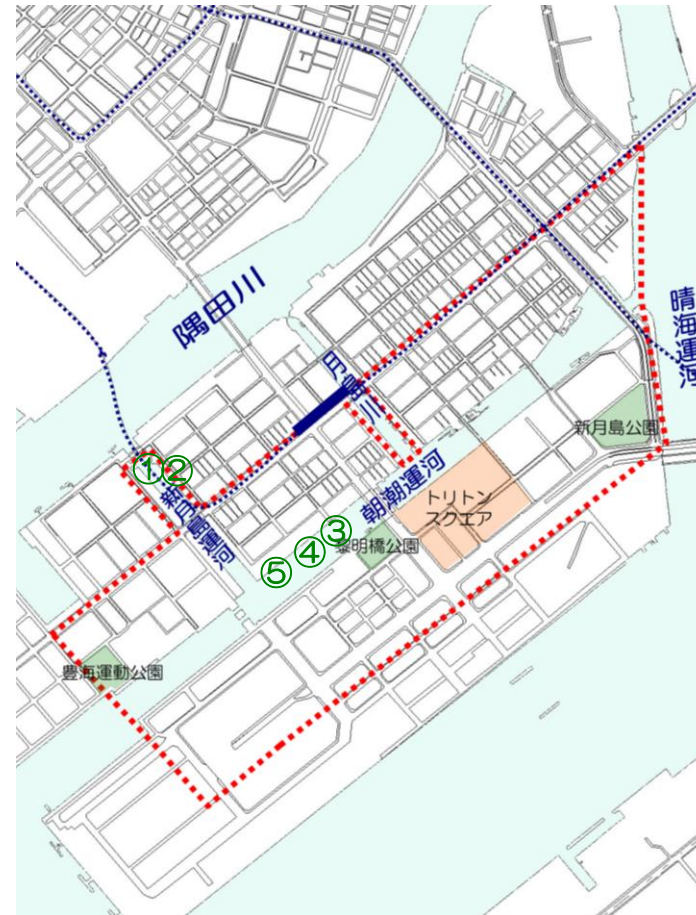
モーターボート2艘を使用し、参加者70名が2～4名のグループごとに乗船してクルーズを楽しんだ。

自分たちの住む町を運河側から見る機会があまりない方がほとんどであり、運河に興味をもつきっかけ作りと、運河の魅力を感じてもらえるイベントとなった。



② 石倉カゴ・簡易かごを用いた生き物の生息場づくり（朝潮運河いきものルネサンス） 主催：朝潮地区運河ルネサンス協議会・東京水産振興会

令和3年度から生き物の棲み処としての朝潮運河の再発見と住民・子供達の里海を目指して「朝潮運河いきものルネサンス」の取組を開始した。生き物の棲み処となる「石倉カゴ」・「簡易かご」の設置と生き物調査、豊海小学校での出前授業を行っている。



③ 朝潮運河船着場でのハゼ釣り調査 主催：朝潮地区運河ルネサンス協議会

東京湾奥部で数少ない浅場域が残された朝潮運河において、ハゼ釣り調査を実施している。今年度は晴海総合高校の生徒が参加し、運河の魅力や生き物に対して関心を持ってもらうことができた。



④ デジタルツイン開発への協力 主催：朝潮地区運河ルネサンス協議会・S-23

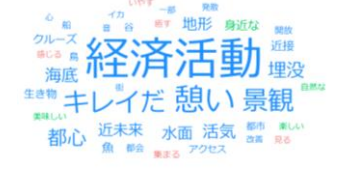
環境省の戦略的研究開発課題S-23「沿岸環境・生態系の統合的管理のためのデジタルツインプラットフォームの構築」の市民参画を推進するモデルサイトとして、デジタルツイン開発に協力している。令和6年度には、市民参画のためのプラットフォーム構築を目指して「朝潮運河の会」のキックオフ会を行い、運河クルーズによる朝潮運河の視点場調査や、アンケート調査を行った。



座学の様子



運河の視点場調査



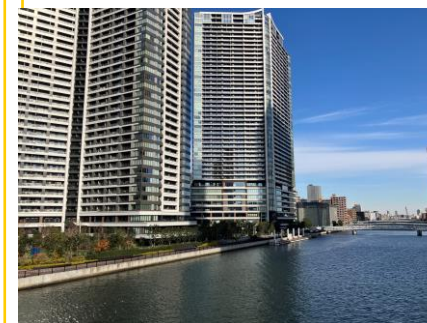
東京湾の魅力について

⑤ 勝どき東地区第一種市街地再開発事業 事業者：勝どき東地区市街地再開発組合

勝どき二丁目、四丁目の一部の3.77haにおいて地権者が主体となる第一種市街地再開発事業によるまちづくりである。（平成26年6月都市計画決定、平成27年11月再開発組合設立）再開発事業により、朝潮運河側の護岸上部を水辺に親しめる空間となるような整備、晴海側とつなぐ人道橋の設置などを実施している。



着工前の朝潮運河からの様子



現在の朝潮運河からの様子



完成イメージ（予定）

朝潮地区運河ルネサンス協議会

（協議会の活動）

H18.1 協議会設立

H18.3 推進地区指定